

平成24年度 第2回富士見市スポーツ推進審議会 議事録

日時：平成25年3月12日(火) 午後7時30分～9時15分

場所：教育委員会 会議室

出席者：清水洋志会長、押田一委員、谷澤誠委員、羽深隆委員、佐藤俊博委員、大竹ミイ子委員、猿渡崇委員  
(事務局：金田生涯学習課長、加藤副課長、高見、大日方)

欠席者：山口靖雄委員、古庄弘道委員

公開・非公開：公開（傍聴人 0人）

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 報告事項

①平成25年度生涯学習課 スポーツ関係事業・予算概要

\*事務局より説明

委員：ヘルシーウォークをはじめ障がいを持つ方などのイベント、行事の参加に対する考え方は。

事務局：障がいを持っている方や、外国籍の方であってもスポーツに親しめる事は権利だと明記されたことは非常に大事な点であり、主催者側のスタンスを変えていかないといけないと思っている。出来ることは改善していきたいと思っている。

委員：今の障がい者は、学校でも校外学習などに健常者と一緒に行くが、社会がバリアフリーになっていない面があり、問題に感じることもある。健常者にはなんでもない坂でも車椅子では非常に大変であるし、小さな段差なども多くある。事故がないようにすることが一番大事なので、十分に検討して進めて頂ければと思う。

②スポーツ関係団体への補助金交付に関する意見聴取

\*事務局より説明

委員：地区体育祭について今回、鶴瀬小学校区で開催が見送られたとのことだが、他の地区の状況はどうか。

事務局：今回、鶴瀬小学校が中止になったことを受け、各地区の実行委員会にアンケートを実施した。多くの地域は、地区体育祭がなければ地域住民が集まる機会がない、とても大きな地域の行事であるとの意見であった。中には役員・選手を集めるのが大変だから、市でやってほしいという意見もあったが、地域住民との親睦の機会がなくなってしまうので、選手が集まらないなど苦しい状況ではあるが続けていきたいという意見が多かった。

鶴瀬小学校区について、24年度はできなかったが、25年度に向けては何らかの形で開催できるよう地元の中では模索していると聞いている。

委員：スポーツフェスティバルや地区体育祭を実施する日は、色々なスポーツ団体が開催する大会と重なっていることが多い。よって子ども達がいらないから盛り上がりがない事があるのでは。

委員：スポーツフェスティバルでは、ドッジボールは全校が出るように呼びかけしているが、スポーツ少年団等の団体活動と重なり、集まるメンバーはあまり運動が得意でない子ども達も含めて集めていくというのが実態としてある。

委員：今の件についてどのように呼びかけていったら良いのか。

事務局：スポーツ少年団については、市内の少年団が一同に会して話し合う、何か取り組むという機会が現状ではない。将来的に少しずつでも連携した取り組みが出来るとよい。

委員：指導者養成講座などはスポーツ少年団に声を掛けているのか。

事務局：多くの団体は体育協会に加盟しているので、協会を通じて声を掛けているが、非加盟の少年団には声を掛けていないのが現状である。

委員：地区体育祭について、役員など関係者だけで一般の方が気軽に入れられないような雰囲気がある。種目なども誰が選んで誰がやっているか見えないところがある。

委員：町会だけでなく学校などでも積極的に声掛けをし、子ども達が出場したいと言い出すようになれば、親と一緒に来るとことになり人数も増えていく。  
地区によっては場所取りが激しかったり、親子3代で参加というところもある。

## (2) 協議事項

### ①規則及び要綱の改正について

#### \*事務局より説明

西中学校の夜間利用については、改正されることによって、勤労者以外、例えば少年サッカーチームなどの子どもたちの団体にも開放できることになる。小学校の体育館なども同じようなルールで使って頂けると言うことになる。一昨年、議会からもそのような質問や要望があり、改正の方向となった。

質疑：特になし

### ②富士見市のスポーツ推進について

委員：これまで子ども達の外遊びの件で意見を述べてきたが、結論としては、先生が子ども達を外に連れ出し一緒に遊ぶことを続けることによって、やっと子ども達が外で鬼ごっこ、ドッジボール、縄跳び、鉄棒をするようになってきた。

しかし先生方が外で遊ぶことを褒めないと外に出なくなる。現在、休み時間などで外へ出る子ども達は増えたが、それでも6割くらいである。

先生が連れ出して遊んであげないと遊ばないという状況の中、一年間続けてこうしたことを続けてきて、外遊びを通じて体力を向上しようということで取り組んでいる。

委員：子ども達の現状の体力について、保護者をはじめ、多くの市民が知っているのか気になっている。

この現状を保護者や市民に知らせ意識づけをさせることが大事ではないかと思う。しかし、学校では授業等学力を向上させるために一杯であるので、この点は行政の力でやれないかなと思う。

次に施設に関して、富士見市の体育館は別として、公園や運動公園など子ども達が遊びにくいような気がする。他市では良く整備され、芝生があり、行くといつ走ってみたくなるようなところもある。土日に子ども連れて遊びに行こうという雰囲気にさせるような環境に変えていかないといけないと思う。

勝瀬原公園にウォーキングに行ったときのこと、午後3時頃に中学生だと思うが、狭い場所でサッカーをしていた。他にやれる場所がないからということだと思うが、そういった環境も整備していく必要もあると思う。

委員：ガーデンビーチは実質稼動しているのが2か月位だと思うが、シーズンオフの間も活用できないかと思う。手法については色々あると思うが、他ではローラースケートやローラブレードを流れるプールで行っている例もある。

委員：富士見市の運動施設は郊外にある。交通の便が悪い中で高齢者などはどうやって行くのか。大きな商業施設が出来るのと合わせてシャトルバスを増やすとか、富士見高校までのバスを第2運動公園まで土日だけでも延ばす、河川敷の運動場まで運行するなど、これから考えていかないといけないのでは。

委員：市民総合体育館は65歳の高齢者は無料になるのか。

事務局：現在、65歳以上が半数以上で構成されている団体は無料としている。

委員：みんな無料になったらどうなるのか。高齢者が今後増えてくるので、無料はありがたいと思うが、電気料などもかかり将来的に今の子ども達にも負担もかかる。検討したほうが良いと思う。

委員：昨年オリンピックなどで盛り上がった。小原選手・高橋選手などについて、富士見市としての位置付けはどうなっているのか。せっかく富士見市に住んでいるので。

委員：大崎電気がホームゲームを富士見市で開催している。子どもの投力は今、課題になっているので、連携して投げ方を教える機会などを作ってもよいのでは。

事務局：小原さんと高橋さんについては、学校での講演会等、子ども達に直接お話をさせていただいた機会があった。小原さんについては、ご夫婦で今年の1月の成人式典に特別ゲストで招いた。市としても、今後何らかの形で関わりを持ち続けたいと思っている。将来的には富士見市に関わる一流のスポーツ選手を手本としたスポーツ普及活動をやっていきたいと思っている。

委員：縄文マラソンの時に箱根駅伝の優勝メンバーである日体大の高柳選手を招く予定だったが雨天のため中止となってしまった。

委員：富士見市内にはスポーツで活躍する選手など多くいる。スポーツフェスティバルなどで、そういった人達と交流を図る機会があれば、多くの市民の方に来て頂けるのではないかな。

委員：バドミントンがテレビ放送『ぶらり途中下車の旅』で取り上げられたが、経緯を伺いたい。

事務局：テレビ局側から連絡を受けてのものである。放送後、県外からも問合せを受けた。

委員：学校開放をはじめスポーツ団体が減っていないか。少年サッカーのチームも3～4の学校でやっと1チームができるような状況になっているのでは。

学校開放の利用が、その学校の地元の方々ではなく広域の人たちがの団体に登録し利用している。

事務局：様々なご意見いただいた事を具体的に一つ一つ形にして行く為のビジョンが必要であるが、まだそういったビジョンが富士見市のスポーツの中で明確なものがないという状況である。

子ども達のスポーツを通じた体力づくり、あるいは健全育成をスポーツ推進計画の中でも位置づけ、富士見市の中では学校だけではなく、市全体で子ども達の体力の問題を取り組まなければいけない、保護者も地域も行政も子ども達の問題をもっと考えてスポーツに親しむ機会を考えてどうやったら広めていけるのかななどを計画として立てたい。

また、各学校区でのスポーツ活動の広がりが弱い面に関しては、先進地では統合型スポーツクラブが学校区ごとにスポーツを推進する母体があって、高齢者から子どもまでそこに集うというような組織づくりをしているところもある。

しかし富士見市での現状は、スポーツ推進委員が学校区ごとにスポーツ事業を行っているものの、浸透していき人数も集まらない。地区体育祭もそのような状況であり、抜本的に学校ごとの地域スポーツの基盤づくりをどのようにしたら良いか考えていかなければならない、

先ほどの学校開放の問題としっかり考えて施策を構築していく必要がある。

次にスポーツライフを支える環境づくりについて、運動公園の問題や交通機関の問題、意識調査で施策に対する意識が低いという意見については、まさにスポーツに対する情報が上手に発信できていないということが原因と考える。25年度からは、市内のスポーツ団体の情報をホームページでアップしようと思っている。

生涯学習課にスポーツ団体の問い合わせがあって十分な回答ができないのが現状であるので、まずそこから取り組んでいきたい。多様なスポーツの情報の提供もそのような施策づくりの大きな柱になるかと思う。今後の審議会の中において議論を行いながら、ビジョンとしてまとめていければと思っている。

#### 4. 閉会